

2018年3月8日

各 位

会社名 O a k キャピタル株式会社
 代表者名 代表取締役会長兼CEO 竹井 博康
 (コード番号 3113 東証第二部)
 問合せ先 執行役員 IR・PR 室長 小玉 誠一
 (TEL. 03-5412-7700)

当社投資先企業である株式会社ピクセラ (東証2部 6731) の事業進捗に関するお知らせ

当社が成長支援を目的にエクイティファイナンス引受を実施した、株式会社ピクセラ (以下ピクセラ社) の事業進捗についてお知らせいたします。

記

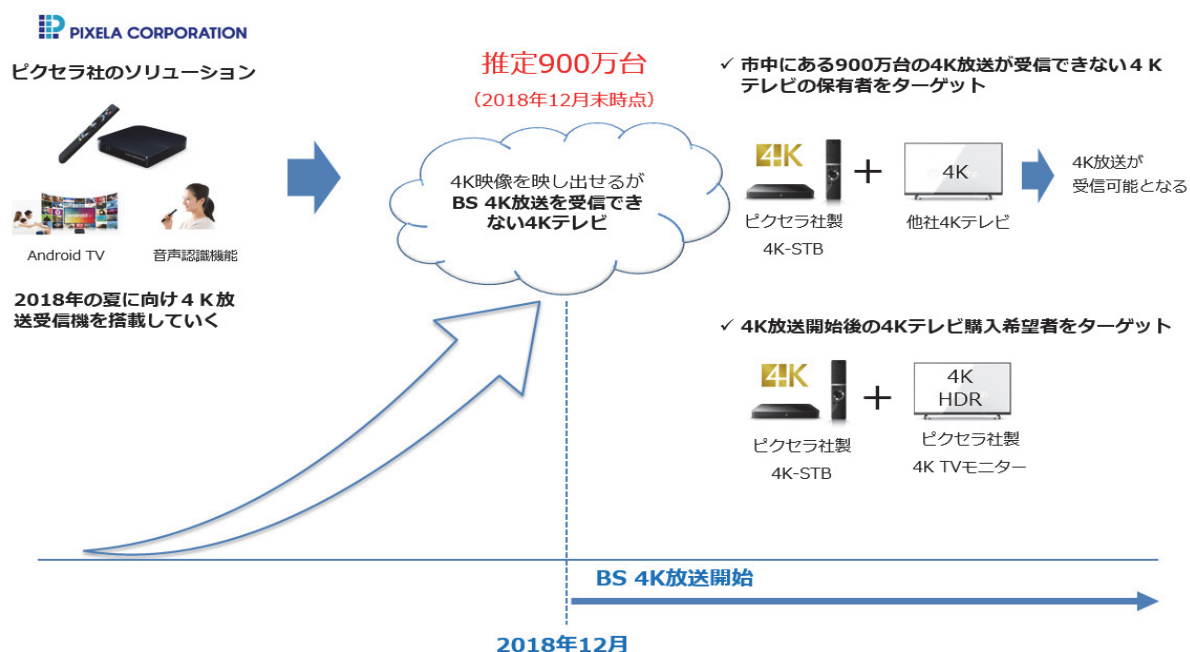
BS 4K放送受信対応セットトップボックス (STB) を自社ブランドで販売

ピクセラ社は、2018年12月から始まるBS 4K放送に合わせ市場規模約900万台 (*1) とされるBS 4K放送受信非対応テレビ市場を対象に、当該放送の受信が可能になるAndroidTV搭載型セットトップボックスを自社ブランドで販売する予定です。

2018年より放送が開始されるBS 4K放送は、現状市販の4K対応テレビでは受信できないため、総務省は「2018年の放送開始に合わせてセットボックス機器 (STB) が別途必要になる」と注意喚起を行っており、ピクセラ社が販売予定の製品は当該放送の受信を可能とする機器として注目され、TV情報番組 (*2) やWebニュースなど多くのメディアで取り上げられております。

また、BS 4K放送開始後は、4K TV購入者層をターゲットに自社ブランド4KモニターとSTBのセット販売を行う予定です。

図 ピクセラ社のSTB戦略



(ピクセラ社ホームページおよび2018年2月16日 成長戦略資料参照)

当社は、ピクセラ社が展開する次世代テレビ事業において、リーディング・プレイヤーになれるよう引き続き同社を支援してまいります。

*1: 出典: 一般社団法人電子情報技術産業協会

*2: BS12 トゥエルビ 2018年2月24 (土) 放送「ドラゴンドラゴンのバカ売れ研究所」

(URL: www.bakaure-lab.jp/play/play20180224/a/) にてピクセラ社の「Smart Box」が紹介される。

以 上